

第4学年「社会」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 自分たちの住んでいる町や暮らしを守るための工夫に多くの問いをもちながら学習に取り組んでいる。
 - 自身が調べたことを整理し、新聞にまとめる力が身に付いた。
- 課題**
- ▼自分たちの住んでいるところには、どんなものがあるのか、よく理解している児童とそうでない児童がいる。
 - ▼地図の見方や地図の記号の意味、（資料の読み取り）などに苦手さを感じている児童が多い。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 適切に資料を読み取り、そこから学習課題に対する考えを広げていく力。
- ◇ 学習課題に対する問いをもち、調べ・まとめ・振り返り、学びを深めていく力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 児童にとって身近な資料を提示し、学習課題に対する問いをもちやすくする。
- 学習計画を立てて、見通しをもって問いを追求する学習過程を設定する。

言語活動の工夫

- 資料から読み取れること（事実）とそれについての自分の考えを区分して捉えられるようにする。

ICT活用の工夫

- ICTを活用して、社会的事象等の見方や考え方を働かせられるような資料を提示する。
- 学習問題に対する考えを、ICTを活用して効果的に共有する時間を確保する。

課題解決力育成の工夫

- 導入で精選した資料を提示し、自ら問いを見出す時間を確保する。
- 自ら見出した問いを追求する学習過程を設定する。

達成目標

- 東京都の地理的環境の特色や人々の暮らしを支える様々なしくみ、また自然災害から地域を守るための活動などについて理解し、様々な資料や調査活動を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会にみられる課題を自分事として把握し、その解決に向けて社会へのかかわり方を選択・判断する力や、学習したことを生活に活かそうとする態度や思考を育み、地域社会の一員としての自覚を養っていく。